

総選挙結果

日本共産党 10 議席 野党一本化 62 選挙区で勝利

日本共産党を支持してくださったみなさん、コロナ危機のもと、大奮闘していただいた赤旗読者のみなさん、支持者、後援会員・サポーターのみなさんに、心からの感謝を申し上げます。

日本共産党の結果は、小選挙区では、沖縄1区で赤嶺政賢さんの宝の議席を守り抜くことができました。「オール沖縄」の底力を発揮した、大きな勝利です。比例代表選挙で、前回獲得した11議席から9議席に後退したことは、大変残念な結果です。

総選挙での野党共闘が「不発」とか「敗北」などと報道されています。しかし、62の選挙区で一本化した候補が勝利しているのは紛れもなく共闘効果であり、自民党の大物議員を打ち破った例が散見されることにも表れています。小選挙区では共闘候補の議席が増えました。

小選挙区での共闘の在り方には濃淡があり、気持ちのよい共闘で取り組んだところもあれば、本気の共闘関係を築く途上のまま選挙戦に突入したところもありました。

岐阜3区では、日本共産党は候補者を立てず、立憲民主党のさかぐち直人氏を応援し、93,616票、41.43%の得票率となり、惜敗でした。

各地で自公を追い詰めたのは、それだけ「変えたい」と願う人々が各地で奮闘し、一票を投じてくださったからにはかなりません。

共通政策の合意や政権合意からの期間が短かったことは否めません。しかし野党の共闘は、これらの合意を機に始まったわけではなく、安保法制11戦争法のたたかい以来の国会内外での共同の積み重ねがあります。紆余曲折を経て、やっとここまでたどり着いた。その最初の一步として政権奪取を掲げた選挙でした。一回でうまくいかなかったからと断念するのでは、それこそ野党の本気度が問われます。ふれずに共闘の旗を掲げ、次のたたかいに臨みたいと思います。政治は必ず変えられる。諦めない限り。



選挙中政策を訴える
ハタノこうめ議員

3回目のワクチン接種予算化

各務原市議会 第5回臨時会報告



新庁舎の議場

10月27日、新庁舎になって初めての議会が開かれ開場式を行った後、令和3年度第5回臨時会が行われました。

3回目のワクチン接種予算などが提出され、全員賛成で可決されました。3回目のワクチン接種経費は、令和4年1月～3月までの分として約2億9000万円です。接種時期は、2回接種後からおおむね8カ月以上あとです。市は、8カ月を経過した人へ順次、接種券を送ります。電話やネットで予約してもらい、集団と個別接種を行います。また、ワクチン接種証明者の発行も行います。

産業文化センター トイレ改修見送り

市は、「改修の目途がつけば補正対応」と答弁

新型コロナウイルスワクチンの3回目の接種が決まり、予定していた産業文化センターのトイレの改修事業などが年度内にできなくなり、予算を減額します。

ハタノこうめ議員は以下の質疑を行いました。コロナ禍でもあり、非接触型のトイレ洗浄や手洗いができるように早急な改修が必要です。また利用者から洋式トイレの希望が多くあり、待ち望んでいる事業でもあります。ワクチン接種を優先しなければならないことは理解しますが、工夫をして工事が行える期間は作れないかと質疑。市は、

大掛かりな工事を予定しており4か月・5カ月の期間が必要であることから今年度は工事ができない。来年度以降工事の目途がつき次第補正予算を組むと答弁しました。

東中に抗原検査 待合場所を設置

東海中央病院での抗原検査等の結果が出るまでの待合場所としてコンテナを設置して、陽性者等の区分をします。コンテナ設置費として690万円を東海中央病院に補助します。

